

平成30年度事業報告

ふれあい・いきいきサロン事業

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 台小地区 毎月第1金曜 実施回数10回 参加人数 延べ355人 西小地区 5/13, 7/8, 9/9, 11/11, 2/10 (5回実施) 参加人数延べ173人 東小地区 6/9, 10/13, 3/10 (3回実施) 参加人数延べ48人 |
| 場 所 | 国分寺公民館、地域食堂自治会集会所、地域学校 |
| 事業内容 | 地域在住の独居高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、地域の中でだれもが安心して暮らせるよう地域コミュニティづくりを推進する。 |
| 成 果 | スタッフも身近な地域に住む住民であることから、日常的なつながりに発展し、見守り体制の構築に向けた取り組みが始まった地域もある。 |
| 今後の課題 | 茶話会の実施が目的になっている地域があり、見守り体制充実への支援・調整が必要と考える。 2層協議体との連携により、地域づくりの情報共有、情報発信に力を入れることが大切である。 |

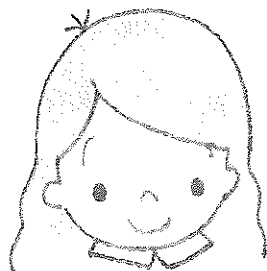
ふれあい・はつらつサロン事業

| | |
|------|--|
| 日 時 | ●6月16日・8月26日・12月22日・3月9日 バリアフリー茶話会 ●10月28日 バリアフリースポーツ交流会 ●12月11日 バリアフリーコンサート |
| 場 所 | ●6月16日・12月22日・3月9日 国分寺公民館 視聴覚室 ●8月26日 たすけあい麦 研修室 ●10月28日 市原市立国分寺公民館 体育室 ●12月11日 市原市立国分寺公民館 会議室(歳末地域福祉交流事業) |
| 事業内容 | ●ボッチャ等バリアフリースポーツ実施 参加者数延べ91名 スタッフ数延べ4名 ●バリアフリー茶話会、ゲーム実施 参加者数延べ60名 スタッフ数延べ7名 ●バリアフリーコンサート 参加者数125名 スタッフ数4名 |
| 成 果 | 地域福祉事業所研修室を茶話会会場として借用でき、地域住民や地域事業所とのつながりができた。 パラリンピックの影響で『ボッチャ』への関心が高まったようで、スポーツ交流会へ新規参加者が増えた。 昨年度から実施を始めたバリアフリーコンサートは、早い時期からの申し込みがあり、事業が地域に定着しつつあることを感じた。また、地域幼稚園の参加があり、地域住民と子育て家庭のつながりを作り出し、地域での見守り等の活動意識啓発に繋がられた。 バリアフリーコンサートの影響から、茶話会でのピアノ演奏などの協力者が増えた。 |

| | |
|-------|---|
| 今後の課題 | <p>公民館の会場押さえが実施予定前月の1日になるため、チラシの町会回覧が間に合わず、広報の方法を検討する必要がある。</p> <p>ふれあい・いきいきサロンと同様に公民館先行予約等の方法も検討する必要がある。</p> <p>障がいのある方たちの参加が増えたことで、開催時期や会場などへの配慮が必要となり、事業計画や会場押さえを早い時期から検討する必要があると感じた。</p> <p>また、障がい者への地域理解をより深めるため、現状などの話をする座談会的な集まりも必要と感じる。</p> |
|-------|---|

子育てサロン事業

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 毎月第1・3・4水曜日 |
| 場 所 | 市原市立国分寺公民館・国分寺台自治会集会所 |
| 事業内容 | <p>国分寺公民館と共催により地域に在住する乳幼児を持つ家庭を対象に、親同士の語り合いの場や、学習の機会を提供する。傾聴講座を受講したスタッフが子育ての悩みなどを丁寧に聴くことにより育児への不安やストレスを軽減する。</p> <p>年間実施回数35回 登録者数149名 延べ参加者数861名 平均参加者数24名 フェスティバル1回 参加者数350名 観劇会1回 参加者数88名</p> |
| 成 果 | <p>参加者同士がゆっくり話せる時間を確保したことにより、同じような悩みを誰でも持っていることを知り、子育ての不安や孤立感の解消に役立った。国分寺台西小学区の住民向けに地域の自治会集会所にてサロンを実施した結果、公民館まで通えない参加者への対応ができた。また、人材育成事業や相談支援事業との連携により、スタッフ講座の充実を図ることができ、ボランティアスタッフの増加に繋がった。</p> <p>子育て家庭支援員によるチラシ配布だけでなく、スタッフがチラシを携帯して子育て中の親に手渡ししたことから、新規参加者が増加した。</p> |
| 今後の課題 | <p>ネウボラセンターができたことにより、細やかな連携、支援が必要になり、スタッフのスキルアップが重要になってきた。</p> <p>開場まで徒歩では通えない家庭のために、開催場所の検討が必要となっている。</p> <p>会場の広さに対して参加者が多すぎると感じる日があり、開催時間の延長や実施回数の適正化も今後の課題である。</p> |



広報・啓発事業

| | |
|-------|--|
| 日 時 | 6月発行 |
| 場 所 | 各事業取材 |
| 事業内容 | <p>国分寺台地区社会福祉協議会の事業や、方針などを広報紙を通して、地域に知らせる。</p> <p>ボランティア啓発事業として、ベルマーク教育助成財団の被災地学校支援に協力し、地域ボランティア活動としてベルマークを集める。</p> |
| 成 果 | <p>賛助会員紹介ページを設け、年間事業の内容と賛助会員氏名紹介を行い、お礼状と合わせて広報誌を送付したことにより、賛助会員数の増加に繋がった。</p> <p>各事業ごとに開催のお知らせを町会を含む他団体に配布したことにより、地区社協事業への参加者や見学者が増加した。</p> |
| 今後の課題 | <p>各団体の紹介コーナーなどを設け、地域の方が困ったときに、身近に相談相手がいることを知らせていく活動も必要と感じた。また、事業終了後の発行ではなく、事業のお知らせ的に、事前PRも必要と感じ、発行時期を各事業部と調整する必要も感じた。</p> |

地域交流事業

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 10月28日（日）午前10時～午後2時 |
| 場 所 | 国分寺公民館 |
| 事業内容 | <p>国分寺公民館運営委員会自主事業との共催で、ロビーでの募金活動や、子ども遊び広場、ボッチャ体験を行う。</p> <p>参加者数665名スタッフ57名 募金額9353円（一般3643円、バザー収益5710円）</p> |
| 成 果 | <p>国分寺公民館との共催事業としたことから、公民館サークルや地域住民のボランティア参加が多数あり、地域への社協事業アピールと合わせて、地域交流ができた。</p> |
| 今後の課題 | <p>一部に開催趣旨を理解しないまま参加した団体があり、混乱があったようなので、他団体への参加呼びかけは開催要項等の文書を作成した方が良く考える。</p> <p>共催事業の際は、実施団体同士での事業目的等の共有が必要なため、事前打ち合わせをしっかりとしておくことが必要と感じた。</p> |

連携・協働体制づくり事業

| | |
|------|--|
| 日 時 | 平成30年7月14日 |
| 場 所 | 市原市社会福祉協議会 会議室 |
| 事業内容 | <p>小域福祉ネットワーク関係者と地区社協役員の連絡会 平成29年度の実施した町会未加入者全戸訪問事業から発展した今年度事業について各地区発表。 民生児童委員との連携について。</p> |

| | |
|-------|--|
| 成 果 | 各ネットワークの組織体制の違いや、参加団体を知ることができ、より発展的に組織体制を考えることができた。 民生児童委員の実情を知ることができ、今後の協力体制構築を考えるきっかけとなった。 |
| 今後の課題 | 各団体や個人が、地域への関心を高め、問題解決のための課題を見つけ出すための、協力体制構築へ向けての取り組みを強化する必要がある。 組織体制が弱いネットワークがあり、地区社協として今後の支援体制強化の必要性を感じる。 |

高齢者地域支え合い事業

| | |
|-------|--|
| 日 時 | 6/23、1/20、3/16 (検討会議) 研修会3回 |
| 場 所 | 市社協会議室、国分寺公民館 |
| 事業内容 | 複数分野の課題を同時に抱え、複合的な支援を必要とする個人や世帯に対して、課題が深刻化する前に、地域としてできる積極的な活動を検討する。 |
| 成 果 | 国分寺台地区で活動する様々な団体が、各視点から捉えた地域課題を抽出するために、話し合いを重ねることにより、お互いの活動内容や役割を知り、今後の協働体制などを考える良い機会となった。 |
| 今後の課題 | 地域福祉に関する問題は複雑化してきており、高齢者、障がい者、子ども等の分野に分かれた体制では対応しきれなくなっていることから、支援体制の一元化とニーズに合った支援体制の早期構築が望まれる。 |

地区行動計画策定・推進事業

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 6/23、1/20、3/16 |
| 場 所 | 市社協会議室 |
| 事業内容 | 国分寺台地区行動計画の策定及び今後の推進体制整備 |
| 成 果 | 国分寺台地区で活動する様々な団体が、各視点から捉えた地域課題を抽出するために、話し合いを重ねることにより、お互いの活動内容や役割を知り、今後の協働体制などを考える良い機会となった。 事業評価を実施したことで、新たな課題と事業内容の見直しなどPDCAサイクルに沿った進行管理体制が構築された。 |
| 今後の課題 | 地域課題解決のための事業整備が必要だが、市原市福祉計画、市原市福祉活動計画が事前に出来上がっている中、地域独自の発展的的事业実施が財政的に問題があり、今後はボトムアップのしくみの構築が必要と考える。 地域福祉に関する問題は複雑化してきており、高齢者、障がい者、子ども等の分野に分かれた体制では対応しきれなくなっていることから、支援体制の一元化とニーズに合った支援体制の早期構築が望まれる。 |

相談支援事業

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 通年 |
| 場 所 | 各サロン会場・地区社協事務所・個人宅 |
| 事業内容 | <p>各サロン会場や、事務所にて、子育ての悩みや、高齢者の不安、障がい者の困りごとなどを聞きとり、地域課題を見つける。</p> <p>相談回数239回 相談時間数 延べ651時間 内容◆子育て110 ◆不登校74 ◆虐待24 ◆高齢者15 ◆障がい者39 ◆DV3 ◆貧困7（重複有）</p> <p>研修12回 他団体交流会3回 ケース会議24回 専門機関通報11回</p> |
| 成 果 | <p>相談者それぞれの悩みや問題を、スタッフが丁寧に傾聴することにより、地域の現状や課題を見つけ出し、各事業の見直しや発展へとつなげることができた。また、課題解決のために行政機関や地域の他団体とも連携を取ることができ、ネットワーク構築へとつながった。</p> <p>学校からの相談が増加し、地域としての支援体制について考える良いきっかけとなった。</p> <p>専門機関との連携では、情報の共有、のりしろのある支援、支援チーム構築等の必要性を感じることができた。</p> <p>ネウボラセンターが設置された結果、乳幼児に関する相談窓口が一元化され、相談者支援者双方にとって解決の糸口ができた。</p> |
| 今後の課題 | <p>相談内容が、複雑になり、専門的知識や支援チームを構築していく必要性を感じる。長期にわたる支援が必要な事例が多くなり、人材育成強化のための研修とケース別の対応を考えるケース会議開催が緊急の課題である。</p> <p>他地区への転居者支援を、支援者との人間関係や相談者の家庭状況などから、突然打ち切るとは状況の悪化を招く場合もあり、他地区との連携、のりしろ部分を含めた支援体制の構築が必要と考える。</p> <p>1件の家庭が抱える問題が、多種多様化していて、行政窓口が多数になることが多く、総合支援窓口の設置が望まれる。</p> <p>情報の秘密性と早急な対応が必要なケースが増加しているが、連携強化の視点を入れた、個人情報保護の考え方を再考する必要がある。</p> |

人材育成事業

| | |
|------|---|
| 日 時 | 4/16, 5/14, 7/23, 8/20, 9/10, 9/13, 10/15, 11/19, 1/21, 2/4, 3/6, 3/26 (講座全12回) バリアフリーサロン、子育てサロン、地域交流フェスタ（現場研修43回） |
| 場 所 | 市原市立国分寺公民館・地域自治会館 |
| 事業内容 | <p>現場研修を含め自尊ワーク、傾聴講座、読み聞かせ講座等を全12回実施。</p> <p>申込参加者数25名 延べ参加者数351名(内現場研修195名含む)</p> |
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年までの子育てサポーター養成講座から、地域サポーター養成講座として講座内容を変更し、子育て支援に限らず、高齢者や障がい者、ひきこもりや、DV家庭への対応を学び、支援の方向を共有することができた。 ・ 講座回数7割以上の出席率参加者に対し、地域サポーター養成講座終了証を発行し、意識啓発と地域活動への参加へ繋げることができた。 ・ 国分寺公民館と共催することで、社協関係者以外の地域住民の参加も多数あり、社協事業への理解と協力を得ることができた。 |

| | |
|-------|--|
| 今後の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・受講者の今後の役割と対応を整理し、事故対応も含めて、社協としてのボランティア会員制度の確立と、育成事業の在り方の検討も必要と考える。 ・様々なボランティア人材を育成するため、講座の内容をより拡大して、地域住民の社会参加意識を啓発する必要がある。 ・養成講座修了者が参加しやすい体制を整え、地域ニーズとのマッチングを視野に入れた、コーディネーターの育成も今後の課題である。 |
|-------|--|

災害支援ボランティア事業その1

| | |
|-------|--|
| 日時 | 平成30年9月4日 8時45分～12時35分 |
| 場所 | 市原市立国分寺台西中学校 |
| 事業内容 | <p>国分寺台西中学校2学年生徒を対象に、生徒を2グループに分け避難所運営ゲームと段ボールトイレ作成をそれぞれ実施した。</p> <p>【避難所運営ゲーム】</p> <p>避難者をカードにみだて、カードに書かれた避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情を考慮して、避難所の体育館や教室の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験する。</p> <p>【段ボールトイレ作成】</p> <p>家庭で備蓄している非常用飲料水又はペットボトル飲料水の段ボールを利用して簡易トイレを作成する。</p> <p>【協力団体】</p> <p>公益社団法人 SL災害ボランティアネットワーク</p> <p>主たる講師はSLに依頼、補助者として地区社協役員、民生・児童委員、一般者からの協力を得て実施。(延16名)</p> |
| 成果 | <p>避難所運営ゲームで避難所の模擬体験することで避難所の役割、避難者受入れの運営上の問題点等を知ること、実際に避難所が立上がった時に自分達が何が出来るかを学ぶ機会となった。</p> <p>家庭にあるもので災害時に便利に利用出来る事の体験が出来た。</p> <p>ライフラインが途絶えた際に大問題になるトイレ対策を備蓄品のペットボトルの箱を利用する事が出来ることで災害時の備えと工夫する気づきとなった。</p> |
| | 事業を継続的に単学年生徒を対象に実施していることで、すべての生徒が災害時の対応を学ぶことができた。 |
| 参加者 | 市原市立国分寺台西中学校 107名 地域見学者31名 |
| 今後の課題 | 中学生を対象として実施しているが、学んだ内容をそれぞれの家庭まで普及させる工夫が必要と考える。 |

災害支援ボランティア事業その2

| | |
|-------|--|
| 日時 | 平成30年12月18日 8時15分～12時 |
| 場所 | 市原市立国分寺台中学校 |
| 事業内容 | <p>「市原力で輝く学校地域連携事業」に国分寺台地区社協、国分寺台地区会が連携し地域住民、民生委員、SLの協力を得て小中学生と地域住民を対象とした防災訓練を実施した。</p> <p>【避難誘導訓練】 中学生が台小に出向き6年生を中学校までの避難誘導を行った。</p> <p>【避難所開設訓練】 地区会、地区社協が中心となり中学生の協力を得て小中学生、見学者を避難住民にみたて受入れ準備、受付、居住区誘導等を行った。</p> <p>【シェイクアウト訓練】 体育館で全員がその場で身の安全を図る訓練を実施した。</p> <p>【段ボールトイレ作成】 家庭で備蓄している非常用飲料水又はペットボトル飲料水の段ボールを利用して簡易トイレを作成した。</p> <p>【三角テント作成】 ブルーシートと支柱、ロープを使った簡易テント作りをした。</p> <p>【中学生の活動班設置】 小学生避難誘導班、避難誘導班、資機材準備班を担当し運営協力を行った。</p> |
| 成果 | <p>避難誘導や避難所開設訓練を体験することで避難所の役割、避難者受入れの運営上の問題点等を知ること、実際に避難所が立上がった時に自分達が何が出来るかを学ぶ機会となった。</p> <p>避難所に入れない状況でのブルーシートの活用は個室としての利用について学び体験した。</p> <p>ライフラインが途絶えた際に大問題になるトイレ対策を備蓄品のペットボトルの箱を利用する事が出来ることで災害時の備えと工夫する気づきとなった。</p> |
| 参加者 | 国分寺台小学生 82名 国分寺台中学校 338名 地域住民 15名 |
| 今後の課題 | <p>事前に準備時間を十分にとり、様々な組織・団体と訓練目的を共有し実務に当たることが重要と感じた。</p> <p>実施内容については訓練項目を絞る必要がある。</p> <p>地域防災会議と連携を図り事業を推進することで、地域住民の防災意識を高めたい。</p> |

子ども防犯事業

| | |
|---|---|
| 日 | ●6月11日（国西小） 10：20～11：05（1年生） 11：15～12：00（2年生） |
| 時 | ●7月10日（国東小） 10：30～11：15（1年生） 11：25～12：10（2年生） |
| | ●7月12日（台小） 9：20～10：05（1年生） 10：25～11：10（2・3年生） |

| | |
|-------|--|
| 場 所 | <ul style="list-style-type: none"> ●6月11日 市原市立国分寺台西小学校 体育館 ●7月10日 市原市立国分寺台東小学校 体育館 ●7月12日 市原市立国分寺台小学校 体育館 |
| 事業内容 | <p>国分寺台西小学校1・2年児童（174名）、国分寺台東小学校1.2年児童（97名）、国分寺台小学校1・2・3年児童（213名）及び地域住民（72名）を対象に体験型安全教育支援機構の清永奈穂氏を講師に招き、体験型の安全教室を開催。</p> <p>実施6か月後に、実施校（国分寺台小学校）と市内未実施校（光風台小学校）で、児童の防犯教室のアンケート調査を実施。</p> |
| 成 果 | <p>今年度は地区3小学校で実施でき、対象学年も低学年（1～3年）にしぼり、学年ごとでの少人数対象としたため、実施前後のアンケート結果からも、より高い成果が得られたことが確認できた。</p> <p>今年度初めて、実施6か月後の意識調査を、実施校、未実施校で実施した結果、時間が経っても実施校の方が、未実施校より防犯自己意識が高いことが分かった。</p> <p>地区町会を通して事業参加を呼びかけ、地域住民の参加も72名という結果で、地域での子どもに対する防犯意識が高まりつつあることが確認でき、地区全体での防犯意識の改革に繋がった。</p> |
| 今後の課題 | <p>今年度の地区住民の参加を機に、地域での防犯指導者を育成し、学校での防犯教室開催を定期的実施していく必要を感じる。</p> |

地域食堂「コンパス」事業

| | |
|-------|--|
| 日 時 | <p>1/18, 2/15, 3/15（開催日）</p> <p>11/14, 11/28, 12/5（スタッフ研修）</p> |
| 場 所 | 市原市立国分寺公民館（工作室、調理室） |
| 事業内容 | <p>異年齢の参加者同士が食事を一緒に摂ることで、親近感をより強く持つようななり、小中学生と高齢者相互の見守り体制を構築する。</p> <p>延べ参加者29名 登録スタッフ18名</p> |
| 成 果 | <p>近年社会的に注目を集めている事業であることから、新聞社の取材や行政関係者の視察、今後開催を考えている市民などの参加があり、この事業の重要性を再認識できた。</p> <p>実施目的がわかりやすい事業のため、食材等の寄付が多くあり、また、地域住民のボランティア参加者も増え、事業の広がりを確認できた。</p> <p>国分寺公民館運営委員会と食器保管体制について協議することができ、運営費の補助についても、多大な協力をいただき、地域教育の大切さを共有することができた。</p> |
| 今後の課題 | <p>公民館調理室を会場としていることから、参加者数に制限が出てしまうため、ニーズに応えられない可能性があり、今後の開催回数や開催場所の検討が必要である。</p> <p>ボランティア協力者の増加に伴い、スタッフ研修を適時行い、事業の目的を共有することが大切と考える。</p> <p>今後外部機関から支援依頼があった場合、送迎などの補助スタッフの検討も視野に入れた展開が必要である。</p> |

平成30年度活動一覧表

国分寺台地区社会福祉協議会

| 月 | 日 | 曜日 | 事業名 | 月 | 日 | 曜日 | 事業名 | 月 | 日 | 曜日 | 事業名 | |
|----|----|--------|------------|----|---------|----|---------|---------|--------|----|---------|--------|
| 4 | 5 | 木 | 役員会 | 8 | 3 | 金 | 茶話会(台小) | 12 | 1 | 土 | ケース会議 | |
| | 6 | 金 | 茶話会(台小) | | 9 | 木 | ケース会議 | | 1 | 土 | 茶話会(西小) | |
| | 7 | 土 | 役員会・監査 | | 16 | 木 | ケース会議 | | 5 | 水 | 子育てサロン | |
| | 16 | 月 | 人材育成 | | 20 | 月 | 人材育成 | | 5 | 水 | 地域食堂研修 | |
| | 18 | 水 | 子育てサロン | | 22 | 水 | 子育てサロン | | 6 | 木 | 役員会 | |
| | 21 | 土 | ケース検討会議 | | 22 | 水 | 子育てサロン | | 9 | 日 | ケース会議 | |
| | 24 | 火 | 役員会 | | 22 | 水 | ケース会議 | | 11 | 火 | はつらつ | |
| | 25 | 水 | 子育てサロン | | 26 | 日 | はつらつ | | 17 | 月 | ケース会議 | |
| 25 | 水 | ケース会議 | 30 | 木 | 役員会 | 18 | 火 | | 災害支援 | | | |
| 5 | 9 | 水 | 子育てサロン | 9 | 4 | 火 | 災害支援 | | 1 | 19 | 水 | 子育てサロン |
| | 13 | 日 | 茶話会(西小) | | 5 | 水 | 子育てサロン | | | 20 | 月 | ケース会議 |
| | 14 | 月 | 人材育成 | | 7 | 金 | 茶話会(台小) | | | 22 | 土 | はつらつ |
| | 16 | 水 | 子育てサロン | | 9 | 日 | 茶話会(西小) | 9 | | 水 | 子育てサロン | |
| | 20 | 日 | 役員会 | | 10 | 月 | 人材育成 | 15 | | 火 | ケース会議 | |
| | 20 | 日 | 理事会 | | 13 | 木 | 子育てサロン | 16 | | 水 | 子育てサロン | |
| | 20 | 日 | 総会 | | 13 | 木 | ケース会議 | 17 | | 木 | ケース会議 | |
| | 27 | 日 | 子育てサロン | | 13 | 木 | 人材育成 | 18 | | 金 | 地域食堂 | |
| 27 | 日 | ケース会議 | 19 | 水 | 子育てサロン | 20 | 日 | 計画推進・2層 | | | | |
| 6 | 1 | 金 | 茶話会(台小) | 10 | 20 | 木 | 役員会 | 2 | | 20 | 日 | 理事会 |
| | 6 | 水 | 子育てサロン | | 26 | 水 | 子育てサロン | | | 20 | 日 | 役員会 |
| | 9 | 土 | 茶話会(東小) | | 26 | 水 | ケース会議 | | | 21 | 月 | 人材育成 |
| | 11 | 月 | 子ども防犯 | | 3 | 水 | 子育てサロン | | 23 | 水 | 子育てサロン | |
| | 16 | 土 | はつらつ | | 5 | 金 | 茶話会(台小) | | 1 | 金 | 茶話会(台小) | |
| | 20 | 水 | 子育てサロン | | 11 | 木 | 役員会 | | 4 | 月 | 人材育成 | |
| | 21 | 木 | 役員会 | | 13 | 土 | 茶話会(東小) | | 6 | 水 | 子育てサロン | |
| | 23 | 土 | 計画推進・2層 | | 15 | 月 | 人材育成 | | 10 | 日 | 茶話会(西小) | |
| 23 | 土 | 理事会 | 17 | 水 | 子育てサロン | 15 | 金 | | 地域食堂 | | | |
| 27 | 水 | 子育てサロン | 24 | 水 | 子育てサロン | 20 | 水 | | 子育てサロン | | | |
| 27 | 水 | ケース会議 | 25 | 木 | 役員会 | 27 | 水 | | 子育てサロン | | | |
| 7 | 4 | 水 | 子育てサロン | 11 | 28 | 日 | はつらつ | | 3 | 27 | 水 | ケース会議 |
| | 6 | 金 | 茶話会(台小) | | 28 | 日 | 歳末助け合い | 1 | | 金 | 茶話会(台小) | |
| | 8 | 日 | 茶話会(西小) | | 31 | 水 | ケース会議 | 2 | | 土 | 役員会 | |
| | 10 | 火 | 子ども防犯 | | 2 | 金 | 茶話会(台小) | 6 | | 水 | 子育てサロン | |
| | 12 | 木 | 子ども防犯 | | 7 | 水 | 子育てサロン | 6 | | 水 | 人材育成 | |
| | 14 | 土 | 連携・協働体制づくり | | 8 | 木 | 役員会 | 7 | | 木 | ケース検討会議 | |
| | 18 | 水 | 子育てサロン | | 11 | 日 | 茶話会(西小) | 9 | | 土 | はつらつ | |
| | 23 | 月 | 人材育成 | | 14 | 水 | 地域食堂研修 | 10 | | 日 | 茶話会(東小) | |
| | 25 | 水 | 子育てサロン | | 19 | 月 | 人材育成 | 14 | | 木 | ケース会議 | |
| | 25 | 水 | ケース会議 | | 19 | 月 | ケース会議 | 15 | | 金 | 地域食堂 | |
| | 28 | 土 | ケース検討会議 | | 21 | 水 | 子育てサロン | 16 | | 土 | 計画推進・2層 | |
| | | | 28 | 水 | 子育てサロン | 16 | 土 | 役員会 | | | | |
| | | | 28 | 水 | ケース会議 | 20 | 水 | 子育てサロン | | | | |
| | | | 28 | 水 | 地域食堂研修 | 24 | 日 | 理事会 | | | | |
| | | | 30 | 金 | ケース検討会議 | 24 | 日 | 役員会 | | | | |
| | | | | | | 25 | 月 | 役員会 | | | | |
| | | | | | | 26 | 火 | 役員会 | | | | |
| | | | | | | 26 | 火 | 人材育成 | | | | |
| | | | | | | 27 | 水 | 役員会 | | | | |

平成30年度活動回数

| 活動名 | 回数 |
|-----|----|
| 総会 | 1 |
| 役員会 | 18 |
| 理事会 | 4 |

| 活動名 | 回数 | 延参加人数 | 延支援者数 | 延活動時間 |
|--------------------|-----|-------|-------|-------|
| ふれあい・いきいきサロン | 18 | 576 | 190 | 36 |
| ふれあい・はつらつサロン | 6 | 276 | 18 | 12 |
| 子育てサロン | 35 | 861 | 256 | 68 |
| 地域交流(歳末助け合い) | 1 | 665 | 57 | 318 |
| 連携・協働体制づくり | 1 | 8 | 5 | 10 |
| 地区行動計画策定・推進(内研修3回) | 6 | 62 | | 744 |
| ケース会議 | 33 | 112 | | 132 |
| 相談件数 | 239 | | 447 | 651 |
| 人材育成 | 12 | 351 | | 702 |
| 災害支援ボランティア | 2 | 573 | 32 | 160 |
| 子ども防犯 | 3 | 556 | 12 | 72 |
| 地域食堂研修 | 3 | 31 | | 9 |
| 地域食堂 | 3 | 30 | 24 | 18 |